

地域医療をめぐる住民運動実態調査用紙

＜各県の医療状況と住民運動＞

都道府県ごとに（医療状況）（地域医療構想の推進状況）（住民運動）の項目で、地域医療を守る取り組みについて集約をしますのご協力をお願いします。

- ①（医療状況）については、「地域医療構想」において【一般・療養病床数】の増減など、地域の医療提供体制の変化や地域医療構想の直近の到達状況（病床機能報告）について二次医療圏毎ご報告ください。合わせて、【医師数】の増減についても可能な限りご報告ください。

「地域医療構想」とは、各都道府県において、二次医療圏を基本とした構想区域毎に、「2025年のあるべき医療提供の姿」を定めたものです。国が示した「ガイドライン」（以下GL）に基づいて必要病床数を定めたもので、一般病床と療養病床が対象で、精神病床は含まれません。GLでは、一般病床と療養病床を「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」に機能分化し、4つの機能ごとに将来の医療需要と必要病床数を推計しています。2016年度に全ての都道府県で策定され、2018年スタートの第7次医療計画に盛り込まれました。

公表された推計値では、2013年時点で135万床余りあった一般・療養病床を2025年に4機能合計で115万～119万床へと削減するもので、マスコミも「病床大幅削減計画」として大々的に報道しました。全体として急性期を減らして回復期・慢性期へとシフトさせ、さらに在宅等へと入院患者を押し出すものです。

病床機能報告は、下記アドレスより病棟毎の病床数を2016年から2020年まで毎年報告しています。二次医療圏毎に合計数を出しながら毎年の変化をご確認ください。

【参考】・病床機能報告『<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000055891.html>』

・日本医師会総合政策研究機構「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集-（2020年4月第8版）」『<https://www.jmari.med.or.jp/result/working/post-266/>』

- ②（地域医療構想の推進状況）については、各住民団体の地域に関わっている「地域医療調整会議」の議論状況を掴んでいけばご報告ください。また、病床削減の具体的な実態・事例を含めて報告をお願いします。
- ③（住民運動）については、2021年7月から2022年7月の1年間で行われた取り組みを組織（守る会、住民の会）ごとにご紹介ください。
- ④ 関係する資料、ニュース・チラシ・アンケート・要請書・各議会の意見書などを合わせて報告をお願いします。
- ⑤ 記入いただいた住民運動の組織については、『第13回地域医療運動推進全国交流集会』への参加をお願いしたいと思いますので、【別紙】「地域医療を守る」住民組織一覧に基礎データを入力してください。
- ⑥ 第1次集約 7月末、第2次集約 9月末
1次集約で集約できた事例を紹介しながら2次集約に向け更に多くの報告を積み上げていきたいと思ひます。ご協力をお願いします

～ 記入いただいた資料は、2022年11月23日に予定している『第13回地域医療運動推進全国交流集会』で掲載します。～

報告者（組織・団体名 ）（氏名 ）
 （連絡先 ）（Mail ）

（医療状況）

（地域医療構想の推進状況）

（住民運動）